

て、AP271Pを使用したテレビセットは弱電界地域でもノイズの少ない鮮明な画像を得ることができる。

- (2) 接触部はゴールド化しており、この接触部には接点清掃用のセルフクリーニングを取り付けてあるので、酸化、硫化、じんあい等のわるい周囲条件での使用に十分たえることができ、きわめて長寿命である。
- (3) 微調整はプリセット方式であるので再調整の手間が省ける。

16.2 ラジオ 音響機器

ステレオについては音響技術から音響芸術ともいわれた昭和41年は、低音の限界をきわめたゴールドトーン方式のトランジスタラジオ、オールトランジスタ式最高級セパレートステレオ、ラジオ付小形電蓄、あるいは縦形テープレコーダなど、各製品とも新技術、新アイデアを織り込み、数々の特長を持った製品を開発した。

16.2.1 トランジスタラジオ

都会地向き小形の6P-35、5P-50形をはじめとし、ゴールドトーンシリーズとして9石FM/AM2バンドGT-FM(9M-860F 図16.11)、高級8石中形GT-AM deluxe(8M-390 図16.12)、7石小形GT-AM(7P-44 図16.13)や11石FM/AM短波付3バンドGT-FM deluxe(11L-805FS 図16.14)などを開発した。

ゴールドトーンは従来のトランジスタラジオの音質から脱皮した素晴らしい音質で、低音の“ベース”から“チューバ”までの音を再生できるよう設計してあり、音質切換はSoft、Music、Voiceの3段にしてあるので好みに合わせて、Softでは高音をおさえ低音



図 16.11 トランジスタラジオ GT-FM (9M-860F)
Transistor radio receiver, GT-FM (9M-860F)



図 16.12 トランジスタラジオ GT-AM deluxe (8M-390)
Transistor radio receiver, GT-AM deluxe (8M-390)



図 16.13 トランジスタラジオ GT-AM (7P-44)
Transistor radio receiver, GT-AM (7P-44)

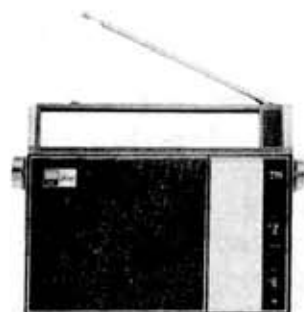


図 16.14 トランジスタラジオ GT-FM deluxe (11L-805FS)
Transistor radio receiver GT-FM deluxe (11L-805FS)

図 16.15 カーラジオ 7CS-10T
Car radio receiver, 7CS-10T



図 16.16 ポータブル電蓄 GP-17C
Portable phonograph, GP-17C



図 16.17 ポータブル電蓄 GP-55
Portable phonograph, GP-55

をきかせたムーディな、Musicにすれば高音、低音もステレオなみの音色を、またVoiceではニュースやスポーツ放送などに適した徹切りのよい音が楽しめるようになっている。

16.2.2 カーラジオ

カーラジオについては一般市販用として設計のポイントを小形、軽量、高感度あるいは外来雑音防止などにおき、7CS-10T(図16.15)、7CS-10S および7CS-11Xなどを開発した。

16.2.3 小形電蓄

本来の目的の一つであるハンディであること、これは昨年来リズミーシリーズの好評から実証済で、本年はさらに前進しラジオを組み込んだGP-17R、GP-17C(リズミーソリッドステート、図16.16)やGP-55(図16.17)を開発した。

これらは、(1)いつでもどこでも楽しめる、(2)すぐに音がとびでるオールトランジスタ式、(3)長寿命レコード針(ウルトラC)使用、(4)温度や湿度について高性能セラミックカートリッジを採用、(5)電源は交直両用、など数多くの特長をもち、ラジオ付としたことによりさらに用途が拡大した。

16.2.4 ステレオ電蓄

昨年来好評を維持してきた音楽都市シリーズの“ベルリン”(MS-30)、“パリ”(FS-4500)、“ローザンヌ”(FS-5000)や“ウィーン”(FS-6300MV)などのデラックス化をはじめ卓上セパレートステレオ“ナポリ”(FS-2000)、“ロンドン”(MS-40)、“ミラノ”(MS-50)などを開発実施した。

(a) ファンタジアステレオシリーズ “パリ”はハイコンプライアンスカートリッジを用いたオートチェンジャ付に、さらに素晴らしい音質のFMステレオ放送が楽しめるようにFMマルチステレオ回路を内蔵(FS-4500M)させた。

“ローザンヌ”は横幅1.3mのハイセパレーション形は変えず、大幅に出力向上を計り最大出力30W(2チャンネル)とし、FMマルチステレオ回路を内蔵させ、プレーヤ部はオートチェンジャ、オートプレーヤの2種類をそろえ“ローザンヌ デラックス”(FS-5500MA、FS-5500MC)として実施した。一方“ウィーン”はFS-6300MVのもつ特長に加え、感度向上とあわせデザインのデラックス化(FS-6300MW)を計った。

“ナポリ”(FS-2000、口絵)は置き場所が自由に変えられる卓上形セパレートステレオとして開発し、ニュードターンオーバ式セラミックカートリッジを使用、高性能長寿命レコード針ウルトラCを採用、音響効果のすぐれた木製キャビネットを使用、小形ながら最大出力7W(2チャンネル)など数多くの特長をもっている。

(b) マイスタージグー 昨年オールトランジスタ式セパレートステレオ“ベルリン”を発表したが、セパレートステレオの予想以上の好評に答え“ベルリン”のデラックス化を計り、ステレオ

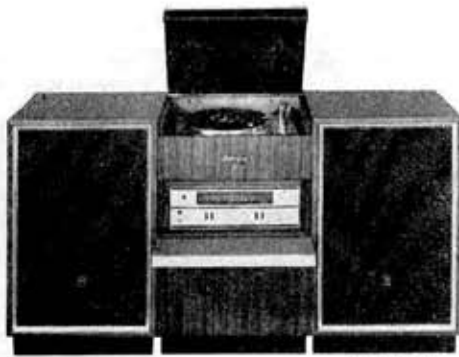


図 16.18 マイスタージンガー MS-30T
(ベルリン)
Stereophonograph "Meistersinger",
MS-30 T (Berlin)



図 16.19 マイスタージンガー, MS-40
(ロンドン)
Stereophonograph "Meistersinger",
MS-40 (London)

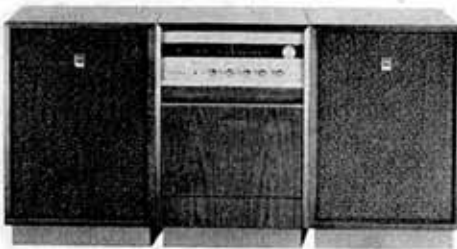


図 16.20 マイスタージンガー, MS-50
(ミラノ)
Stereophonograph "Meistersinger",
MS-50 (Milano)

テープレコーダを収納できる。

エビタキシャルプレーナ形シリコントランジスタを採用、OTL方式による最大出力 60W (2チャンネル)、スーパーハイコンプライアンスムービングマグネットカートリッジを採用、針圧 1g と非常に軽くレコードが長持ちする、FM マルチステレオ内蔵、スピーカ方式は大口径 30cm ウーハを含む 4 ウェイ 8 スピーカ、その他従来のステレオのすべての機能を備えた最高級セパレートステレオ (MS-30T, 図 16.18) として実施する一方、"ロンドン" (MS-40, 図 16.19), "ミラノ" (MS-50, 図 16.20) を開発した。

"ロンドン" (MS-40) は音の名器ともいわれ、最大出力 38W (2チャンネル)、20cm ウーハを含む 4 スピーカ方式、軽針圧 (3g) ムービングマグネット形カートリッジを使用、FM マルチステレオ内蔵など多くの特長がある。

"ミラノ" (MS-50) も "ベルリン" "ロンドン" 同様高級セパレートタイプのステレオで最大出力 28W (2チャンネル)、25cm ウーハを含む 4 スピーカ方式、ハイコンプライアンスムービングマグネットカートリッジを使用し、針圧 3g、FM マルチステレオ内蔵などの特長をもっている。



図 16.21 テープレコーダ,
PT-820S (ステレオ
デッキ)
Tape recorder, PT-820S
"Stereo deck"



図 16.22 テープレコー
ダ, GT-611P (ハン
ディエースデラ
ックス)
Tape recorder
GT-611P "Handy
ace deluxe"



図 16.23 テープレコーダ,
GT-801V
Tape recorder,
GT-801V

16.2.5 テープレコーダ

昨年来好評のカレッジエースなどの技術をベースにさらに性能向上を計り、GT-520, GT-601V (パーティカル 5, 口絵), PT-820S (ステレオデッキ, 図 16.21), GT-611P (ハンディエースデラックス, 図 16.22) や GT-801V (図 16.23) などを開発した。

GT-601V (パーティカル 5) は名前のように縦形とし、どこに置いても場所をとらず、しかもふたをしたまま録音、再生できる。小さい音から大きい音までひずみなく自動的に調整して録音するオートレベル装置つき、録音中の音を確かめられる二段式スピーカモニターつき、テープ送り 4.8cm/s, 9.5cm/s の 2 スピード方式、雑音の全くない高級機と同じ交流消去方式を採用するなどの特長をもっている。

PT-820S (ステレオデッキ) は Hi-Fi アンプに接続すれば簡単に録音、再生ができ、7号テープで最高 6 時間 (ステレオ, 往復) もの録音、再生がふたをしたままできる。テープ送り 4.8cm/s, 9.5cm/s と 19cm/s の 3 スピード方式、Hi-Fi アンプから録音したり、録音されたテープを再生する場合、録再コードを用いれば一本のコードで簡単にできる録・再コネクタつき、またテープスピード切換レバーに連動で録音・再生補償特性が変わるのでどのスピードのレコーデッドテープでも再生が完全に行なわれる補償回路つきなどの特長をもっている。

GP-611P (ハンディエースデラックス) はポータブルタイプのテープ送り 4.8cm/s, 9.5cm/s の 2 スピード方式、5号リールでふたをしたまま使用できる、電源は交直両用式、自動的に調整して録音するオートレベル装置やスピーカモニターつき、など高級機と変わらない特長をもっている。

GT-801V は GT-601V などと同様、木目を生かした縦形キャビネットを使用し、録音、再生が自動逆転できるという第一の特長を